年間授業計画　新様式例

高等学校 令和４年度（2学年用） 教科　家庭　科目 子供と音楽

教　科： 家庭　　科　目： 子供と音楽　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 2 組

使用教科書：（ なし ）

教科　家庭　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】生活に必要な知識と技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解する。

【学びに向かう力、人間性等】男女が主体的に家庭や地域の生活を想像する能力と実践的な態度を育てる。

科目　子供と音楽　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ピアノやその他の楽器を用いた伴奏や歌唱など保育を担う職業人としての知識及び技術を身につける。	子供が音楽に親しみ、歌を歌う活動を援助する方法を身につける。	子供にとっての音楽活動の重要性と可能性を探り、全国高等学校家庭科技術検定保育検定に３級を受験する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	いろいろな歌 バイエル 【知識及び技能】歌唱表現や楽器表現に関わる知識や技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などを身につける。 【学びに向かう力、人間性等】音楽活動を通じて、将来職業人として音楽を楽しめる指導ができるようにする。	1.日本と世界の季節に関する童謡の歌唱 ２．バイエル教則１～15のピアノ演奏 ３．音楽理論（音符等）	【知識・技能】ピアノを用いた伴奏や歌唱などの知識及び技術を身につけている。 【思考・判断・表現】子供が音楽に親しみ、歌を歌う活動を援助する方法を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】子供にとっての音楽活動の重要性と可能性を探り、将来職業人として音楽を楽しめる指導ができるようになろうとしている。	○	○	○	23
	定期考査		実技（ピアノ、歌唱）音楽理論	○	○		1
2学期	いろいろな歌 バイエル 【知識及び技能】歌唱表現や楽器表現に関わる知識や技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などを身につける。 【学びに向かう力、人間性等】音楽活動を通じて、将来職業人として音楽を楽しめる指導ができるようにする。	1.日本と世界の行事に関する童謡の歌唱 ２．バイエル教則16～30のピアノ演奏 ３．音楽理論（音符等）	【知識・技能】ピアノを用いた伴奏や歌唱などの知識及び技術を身につけている。 【思考・判断・表現】子供が音楽に親しみ、歌を歌う活動を援助する方法を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】子供にとっての音楽活動の重要性と可能性を探り、将来職業人として音楽を楽しめる指導ができるようになろうとしている。	○	○	○	26
	定期考査 家庭科技術検定保育３級		実技（ピアノ、歌唱）音楽理論 家庭科技術検定保育検定音楽リズム３級	○	○		2
3学期	いろいろな歌 バイエル 【知識及び技能】歌唱表現や楽器表現に関わる知識や技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などを身につける。 【学びに向かう力、人間性等】音楽活動を通じて、将来職業人として音楽を楽しめる指導ができるようにする。	１．日本の手遊びとリトミック ２．バイエル教則31～45のピアノ演奏 ３．音楽理論（音符等）	【知識・技能】ピアノを用いた伴奏や歌唱などの知識及び技術を身につけている。 【思考・判断・表現】子供が音楽に親しみ、歌を歌う活動を援助する方法を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】子供にとっての音楽活動の重要性と可能性を探り、将来職業人として音楽を楽しめる指導ができるようになろうとしている。	○	○	○	17
	定期考査		実技（ピアノ、歌唱）音楽理論	○	○		1 合計 70